

たぐすい

TAKUSUI

1

2007年 January

No.603



新年のご挨拶

News カキ対策各地で開催される

CONTENTS

- 2 旬に想う
光について
表紙の言葉
- 3 新年のご挨拶
- 7 NEWS
カキ対策各地で開催される
・「カキは安全！」PR イベント
・牡蠣の消費広報キャンペーン
- 8 兵庫 JCC 通信
プレゼントのお知らせ
- 9 行事予定
大輪田塾だより
- 10 ズワイガニ漁が順調な滑り出し
海苔入礼会開始!

表紙の言葉



－ 生田神社（拝殿） －

当神社は戦前から結婚式を行っていた縁結びの神様として知られ、男女が神社で授かる紅白の縁結び守りをそれぞれ持つと結ばれると言われてます。

来月に芸能人が挙式を行うからなのか、例年より混雑しているような気がします・・・。



写真と文 遊 芥 子



十一面観音

光について

◆震災犠牲者への鎮魂と復興の願いを込めた《神戸ルミナリエ》は毎年の行事になった。豪華絢爛な電飾で、幻想的な光の壁を浮き上がらせた光の祭典である。慰霊と復興のモニュメントが街路を明るく照らし、光の回廊を歩くと、ほのぼのと心が温められ悲しみが癒される。華やいだ光のお祭に、復興への思いを強くする人も多いだろう。モニュメントに供えられた花々に、そんな思いが込められている。素晴らしい光の芸術である。個々の光は、犠牲となられた方々の、霊魂が輝いているのかも知れない。

◆《ネオン》という元素は、新しいという意のギリシャ語を語源としている。この無味無色無臭の元素を、真空放電管に封じ込めると赤く発色する。そしてアルゴンや水銀蒸気を使って生まれたのがネオンサインであり、華やかな彩りで、夜も街を活気づける。忙しく動くサイン灯を見ていると、そんな街で働いた昔を思い出す。庶民の街として大いに賑わった所、湊川新開地。映画館や飲食店が軒を連ねて非常に活気があった。今は当時の賑わいが、嘘のような寂しさだ。「時の変改、一栄一落是春秋」とかいうが、点いては消え、消えては又点くネオンサインに、空虚な倦怠を覚えるのである。

◆「物が見える」というのは、太陽光などが物に当た

り撥ね返った光を、目が見ていることである。光が無ければ全く見ることが出来ない。長野の善光寺では光を遮断した暗黒の回廊を歩く「お戒壇巡り」をする。手探りで進んで極楽の錠前に触れると外へ導かれる。光の世界から闇をくぐり抜けることで、生まれ変わりを体験する仕組みだが、光の世界へ戻る瞬間、有り難い体験を頂いた気分になれる。目を瞑って道を歩くことは不可能であり、暗黒は恐怖の世界でもある。望んで行くべき所ではないが、光の無い世界を知ること、見えるという有り難さを再認識することが出来るのである。

◆夏の夜、ホタルを見に行ったら。腹部の発光器からの光りは、小さく儂い点滅ながら、川べりを流れる光芒は実に美しく可憐であった。雄は飛びつつ光りを放ち、雌が応えて光りを返す。短命ながらも交信して求愛、子孫を残すのである。汚れのため餌になるカワニナが死滅し、ホタルの数は急減した。近年、復活を懸けた活動もあるものの、ホタルを見るには、何時間も車で走らねばならず、汚れた川も元に戻すには大きな努力が必要。あつちの水は苦いぞ、こつちの水も苦いぞではホタルは安住できない。夜空には夏の星座が輝いているが、都会では明る過ぎて天の川も見え難く、夜空を仰ぐ事もしなくなった。



新年のご挨拶

兵庫県漁業協同組合連合会 代表理事会長

小松 司



新年あけましておめでとございます。年頭にあたり、県下JFならびに組合員の皆様にご挨拶を申し上げます。

依然として厳しい環境の中、漁業者関係の皆様には漁協経営の健全化に、又、漁家経営の安定に日々ご尽力されていること存じます。

今年は、国の重要課題である食料自給率の向上をめざした水産基本計画の見直しが予定されています。水産業を永続的に営むことができるように、この計画の見直しに大きな関心をもって臨むと共に、その実行にあたっては、私たち漁業者が「海の防人」を自覚し、豊かな海、豊かな資源を守り、安全・安心な水産物を安定的に供給するため、行政と一体となり、国民の負託に応えるよう役割を果たすべく決意を新たにしております。

さて、近年、漁協・漁連の事業運営は漁業の不振を受け困難な経営状況が続いており、本県でも、役員各位には経営の安定化に努めておられます。そんな中、面白い話題として漁業者のリーダー育成の場として開講

している大輪田塾に第2期生が加わり、漁業界の将来に向け活気に満ちた塾生の議論に期待が膨らみます。

県下の漁業情勢は、瀬戸内海では基幹産業のノリ養殖における色落ち問題、漁船漁業の資源問題に加え、魚価安、また、日本海ではズワイガニの資源管理効果は見られるものの、韓国側の不誠実な姿勢により日韓暫定水域及びわが国排他的経済水域問題は、依然として解決の糸口が見えない状況にあります。

このように山積する問題に対し、昨年12月自民党水産政策調査会による「フィッシュリーミーティング in ひょうご」が垂水漁港において開催されました。自民党水産総合調査会の国会議員4名が出席し、各海区代表より、①瀬戸内海の再生に向けて、②海洋ごみ投棄問題、③魚価対策、④日韓漁業問題についてなど、重点課題4点について施策

要望するとともに、課題の克服に向け地域の重要な問題について活発な意見交換を行い出席国会議員より国政に反映するべく努力するとの回答を得ました。特に、漁業を持続的に行っていく上で環境・生態系保全に重要と認識しているのが、「漁業用

水」の概念構築と確保です。瀬戸内海の環境再生に向けて新法制定を目指すなかで、農業用水、工業用水と同じく海を浄化するための「漁業用水」の位置づけを図ります。森が生み出す豊かな水資源、あるいは河川の砂資源が海洋生物資源の育成に重要な役割を果たしていることは漁業者の共通認識であり、森、川、海を一つのユニットとした一体的な取組みを可能とするため、抜本的な法整備が必要と考えっております。

これらを実現するために、県下漁業関係者の大同団結はもちろんですが、資源の減少や環境問題、燃油高騰問題等は自助努力では解決し得るものでなく、政治の力が強く求められます。今こそ水産政治力の結集を図り、浜の現状を国政の場へ伝える事が急務であります。

JF兵庫漁連としまして、会員の方々と固い信頼関係の中で強固な経営基盤を築けるよう、しっかりと事業実績を積み重ねることが重要であり、そのことが、系統をあげて実践している政治力結集運動につながると確信しております。



兵庫県知事

井ノ敏三

平成十九年 知事新春メッセージ

元氣ひょうごへ飛躍を

新年あけましておめでとうございます。

全県を舞台に開催された「のじぎく兵庫国体」と「のじぎく兵庫大会」では、復興支援への感謝とともに、生まれ変わった新たな兵庫を全国にアピールできました。

ここで培った感謝、感動と共生の心を基として、これからも県民総参加で、新しいふるさとづくりを進めようではありませんか。

広大で豊かな県土に、魅力あふれる五六〇万の人々。兵庫は元氣に充ちています。

その一つひとつを結集し、質の高い生活ができる地域づくりを進めます。

原動力は、人の元氣、産業の元氣、地域の元氣、社会の元氣です。

夢や志豊かに自信を持って歩む若者たち、地域経済の力強い再生、各地で繰り広げられる様々な地域づくり活動、積極的なボランティア活動、いずれも元氣の源です。

そして、元氣な兵庫は、安心と安全な兵庫で支えます。少子子育て対策や健康づくり、福祉、環境優先で築く安心な兵庫、防災減災対策やくらしの安全対策、交流連携基盤が整った安全な兵庫、この二つの基盤を整えます。また、分権型社会にふさわしい自治を確立し、人々の信頼に応えます。

平成十九年は、「元氣ひょうご」へ飛躍の年です。元氣な兵庫、安心な兵庫、安全な兵庫、信頼の兵庫をづくり、ともに、ふるさとと未来を拓いていきましょう。

現在を 基本に進む 人々が 世の未来生み 合意しつくる



兵庫県信用漁業協同組合連合会
代表理事会長

秋武 宏

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
年頭にあたり、会員ならびに組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本県漁業情勢は、自然現象の影響を受け、瀬戸内海地区においての海苔養殖は、色落ちと寒波の影響を受け例年になく不漁となりました。また船びき網漁業もチリメン漁、イカナゴ漁とも餌となるプランクトンの不足等で不漁に見舞われ不調な年でした。但馬地区におきましても、荒天による小型船の不安定な操業を余儀なくされ、沿岸漁業の水揚げが減少いたしました。水産系統におきましては、燃油高騰、魚価安が続く厳しい状況の年でもありました。

一県一JFを理想とする「JFグループ兵庫・組織強化構想」にJFグループが一体となって取り組んだ一年でもありました。更に漁業者の生の声を国へと送り出すよう水産政治力を結集し、「魚食」の変化に対応する新しい水産業の構築が求められています。

このような状況の中、さらに安心・安全なJFマリンバンクを構築するため、6月に策定いたしました「中期経営計画・中期事業推進方策」に基づき、組織・体制の再構築、系統金融力の強化、経営の健全性維持と質の向上を掲げ、事業展開を行っています。その一環として、女性

部との連携強化、漁業者の実態に応じた経営指導を行い、活力ある漁村作りに取り組みました。また、本会の経営状況につきましては、事業管理費の圧縮と資金運用の効率化等に努めるとともに国際的な新BIS基準に対応した自己資本の増強を図るため、優先出資を受け入れ財務の健全性確保を図り、さらなる事業展開を進めてまいります。

「浜の金融機関」としての理念と特性を基本とし、漁業者等利用者にとって安全・安心な貯金の預入先であること、必要とする資金を安定的に供給できる金融機関であることが本会の最大の役割であることを再認識し、真に漁業者等利用者の負託に応える事業を行う「JFマリンバンク」の構築を目指し、役職員一丸となって努力してまいりますので一層のご支援・ご愛顧をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本県水産業のさらなる発展と皆様方のご健康ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



兵庫県漁業共済組合
組合長理事

吉岡 修一

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平成十九年の年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。さて、皆様ご承知のとおり近年の漁業状況は、

資源の減少、魚価の低迷、さらに燃油の高騰等依然として厳しい状況が続いており、特に昨年は、内海地区においてはノリの色落ちによる不漁やイカナゴ、イワシシラスの回避不振、また、但馬地区においてはエチゼンクラゲの来襲による操業妨害等により漁業経営は極めて苦しい状況下に置かれております。

このような中、ぎよさいはノリの特定養殖共済において7億円を超える共済金の支払を行うなど漁業経営の安定に大きく貢献してきておりますが、一方では、加入率が約68%と未だ十分な加入状況とは言えず、また、低い契約割合での加入により十分な補償が受けられない契約者も多く、より一層漁業者の理解を深める努力を行う必要を痛感いたしております。

昨年4月より3カ年の全国新普及運動である「浜を守る！ぎよさい総加入運動」が展開されており、本県としましてもこの全国運動に呼応して運動を展開し、より多くの方々にぎよさいを理解していただくよう努力していく所存でございます。

幸いにも新全国運動と時を同じくして新たな国の掛金上乘せ助成事業である、漁業共済盤強化事業が3カ年実施されることとなりましたので、この事業を有効に活用しながら積極的に普及拡大に取り組みます。

さらに、現在全国等において本年3月の水産基本計画の見直しに向けての検討が行われておりますが、この中で新たな漁業経営安定対策の導入が検討されております。この事業の執行組織として、漁業者の収入把握等のノウハウを有し、全国展開している漁業共済団体の活用が検討されていること及び、経営安定対策の対象者が漁業共済制度の加入を前提として検討されていること等を踏まえると、今後ますますぎよさいの重要性が増していくことは言うまでもない

ことと考えます。

どんな災害や不漁に見まわられても安心して漁業を継続していける環境をつくるのが、ぎよさいの重要な使命であると痛感いたしております。漁業者の皆様には、自分の経営は自分で守ると強い信念を持っていただくことが非常に大切であると考えます。是非とも協同の精神に基づいて積極的に全国の助け合いの輪に参加されますことを大いに期待しております。

浜から信頼される「ぎよさい」であるとともに、漁業経営のセーフティネットとして新時代の漁業と漁村づくりにますますの貢献ができれば、役職員一丸となって努力していく所存でありますので、皆様方のご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本県水産業の更なる発展と皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年頭のご挨拶といたします。



兵庫県農林水産部
農林水産局水産課長
大谷 和夫

新しい年を迎えて

あけましておめでとうございます。

皆様には、清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

新しい年が希望に満ちた一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

昨年は、経済事業改革JFの実現に向けて、

設立推進委員会が設置され、60組合長に協議を経て、改革の方向性（青写真）が具体化されました。今年はいよいよ計画が提示され、漁業者のしあわせの実現に向けた取組みが本格化します。

また、但馬をはじめ県下各地では、地域合併の取組が実を結び、新しい組合の発足を迎える年となります。

新組合の船出ならびに経済事業改革JFの実現に向けて、関係者の皆様の一層のご努力をお願いいたします。

国では、昨年より水産基本計画の見直し作業が行われ、本年3月には新計画が決定される運びとなりますが、その概念に、「施策の集中・規制緩和による思い切った構造改革の推進」が掲げられています。こうした変化に対応するには、漁業者の負託に応える強い組織が必要であり、県としましては、経済事業改革JFの取組みに大きな期待をしております。

さて、昨年の漁業を顧みますと、瀬戸内海のノリ養殖では、1月から漁期終盤まで色落ちが回復せず、枚数、金額ともに平年を下回る結果となりました。日本海では、沖合底びき網漁業の開始とともに、大型クラゲが大量に発生しました。また、一昨年来、高騰を続けた燃油価格は、夏場にはピークを向かえた後、現在も高止まりの状態にあります。

漁業を巡る状況は、依然として厳しいものがありますが、県としましては、豊かな漁場の保全・再生に向けて、漁業環境の改善に努めるとともに、省エネ低コスト漁業への転換を図るため、協業化などの取組みを検討して参りたいと考えています。

最後に、皆様の操業安全と海の幸に恵まれますことを祈念しまして、新年のご挨拶といたします。



兵庫農林水産部
農林水産局漁港課長
久保田 茂

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しく良き新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は振り返ってみますと、阪神・淡路大震災からの復興への支援に対する感謝と、元氣な兵庫の姿を全国に発信する、第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」と第6回全国障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」が開催され、多くの感動とさわやかな思い出を残しました。

また、昨年末には、平成14年2月に始まった景気拡大が「いざなぎ景気」を超え、戦後最長となったことでした。

しかし、一方で原油価格の高騰などもあり、多くの人々にとっては、景気回復を実感出来るまでには至っていないように感じるところです。

水産業界を取り巻く状況を見ても、魚価の低迷、漁獲量の減少、燃油価格の高騰等により漁業経営が厳しさを増し、漁業就業者の高齢化と後継者不足、さらには津波等の災害に対する安全性などの課題があります。

現在、国においては、これらの課題に対応するため、平成19年度を初年度とした次期漁港漁場整備長期計画の策定に向けた議論が進められておりますが、基本的な方針として、生産流通

拠点の整備や安全で安心な漁村形成のための防災対策の実施等が盛り込まれる見込みです。

本県においても、今後、陸揚拠点漁港の整備や地域の特性にあった機能の付加など、漁業生産活動をより円滑に進めるための施設整備を行うとともに東南海・南海地震に備えた総合的な防災対策に取り組んでいくこととしています。また、漁港においては、今後耐用年数を経過した施設が増加することとなりますので、これら老朽化施設の効率的、効果的な更新にも意を用いていきたいと考えています。

今後とも、会員の皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後に、本年一年の皆様のご健康とご活躍をお祈り致しまして、新年のご挨拶といたします。



兵庫農林水産技術総合センター
水産技術センター所長
八橋 忠良

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、良き新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

顧みますと、昨年は、第61回国民体育大会が県下各地で60年振りに開催され、幸い兵庫県選手団は高得点をあげ、見事、天皇杯・皇后杯を獲得しました。

また、この大会に続き第6回全国障害者スポーツ大会が開催され、県下各地で熱戦が繰り

広げられました。両大会は、内外ともに高く評価され、「元氣な兵庫」を全国各地に発信することができました。

さて燃油の高騰など漁業を取り巻く環境は依然として厳しい中、当水産技術センターでは地域に密着した技術開発、水産資源及び漁場環境の把握とこれら情報の提供、研究成果の普及を通して水産業の振興を目指しています。

今年、ノリ色落ち対策として平成14年から兵庫農林水産協同組合連合会と共同で取り組んできた「珪藻赤潮被害防止対策事業」の総まとめとして「兵庫県における養殖ノリの色落ち被害を防ぐために」についての提言を行います。

その他、内海側では、ノリ関係として「兵庫ノリ」の持続的生産に向けた地域適合品種の開発、兵庫、広島、岡山、香川4県による広域モニタリング調査、主要珪藻の生理生態の解明を行い、瀬戸内海における栄養塩や主要珪藻の長期的な予測モデルを開発するよう努め、養殖ノリの不作対策について検討を進めます。

さらに、ウチムラサキ等の二枚貝は、プランクトンフィードーとして海洋生態の中で重要な役割を果たしている濾過性動物であります。資源量の激減が著しいウチムラサキの種苗生産技術と中間育生技術の開発、飼育実験による生態把握、海域での生息条件の解明等の調査研究を進めることとしています。

但馬では漁業調査船「たじま」に代わる新造船の平成21年の竣工を目指し、鋭意努力して参ります。また、漁業に甚大な被害を与えているエチゼンクラゲ対策については、従来通りの対策を進める一方、小型魚の漁獲回避等、資源管理型漁業をさらに推進するための底びき網漁具の改良試験を進めます。

さらに内水面関係では、アユの冷水病対策を進めるとともに新養殖魚種として、チョウザメ

に引き続きコロノス（たじま雪鱒）の養殖技術開発試験を進めます。

「ローマは1日にしてならず」とはよく言われる言葉ですが、漁業についてもやはり同様でしょう。まずは漁場に漁獲する魚介類資源がふんだんに存在するということが、次に、これら魚介類が健全に生息や成長ができる漁場環境であること、そして、常にかこれからの漁業の発展を思い、経営感覚を持って、持続性のある漁業を實踐されておられる漁業者の皆さんの存在です。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と漁業のなご一層の発展を祈念しまして、新年のご挨拶といたします。



全国漁業協同組合連合会
代表理事長
植村 正治

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国津々浦々でご活躍中の組合員の皆様並びにJFグループの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

水産業界を取り巻く環境は依然として厳しく、漁業・JF経営も困難を余儀なくされておりますが、歴史と伝統を持ったJFグループに力を結集し、総力を挙げてこの難局を乗り越えていかなければならない、と決意を新たにしているところです。

特に今年予定される水産基本計画の見直し、指定漁業許可の一斉更新などを契機として、漁業・漁村の再生に向けて水産施策を抜本的に強化するためには、政官民が一体となって、思いきった構造改革に取り組みなければなりません。

このような情勢の下で、JFグループは昨年10月の「水産基本政策の確立を求める全国漁民大会」において、①新たな経営安定政策の確立、②漁業金融円滑化政策の拡充、③水産業・漁村の多面的機能増進支援政策の創設、④資源状況に見合った生産構造の確立、⑤棲み分けの原則に基づく調整問題の早期解決、の5項目を採択し、現在、その実現に向け組織の総力を挙げて取り組んでいるところであります。

また、このような施策を実現していくためには、水産政治力の結集を図り、浜の声を直接国政に反映し、漁業・漁村の再生に政治の光を当てるのが不可欠であることから、次期参議院選挙にオール水産の独自推薦候補を擁立することを満場一致で採択し、推薦候補者として前JF兵庫漁連会長の丸一よしのりさんを支援して行くことを決定いたしました。

景気は好調を持続しているといわれておりますが、この景気に触発され、水産業界がもつともっと好調に循環し、明るい話題が出てくるようなない年となりますよう祈念しております。

JF全漁連と致しましては経営再建に向けて中期経営改善計画を達成し、組合員・会員の皆様をはじめ社会からも信頼される組織・事業改革に向けて役員一丸となって一層の努力を傾注してまいり所存であります。とりわけ会員の皆様方には、経営的観点から、また事業推進上からもご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年が皆様方にとりまして良い年であり

ますようお願いし、海上安全と一層のご繁栄・ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。



全国共済水産業協同組合連合会
代表理事長

佐々木 護

保障の充実に向け「くらし」改正へ

平成19年の年頭にあたり、浜の皆様に対しまして謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、昨年は本会の事業活動に對しまして、多大なるご支援、ご協力を賜わり心から厚くお礼申し上げます。

さて、わが国経済は、戦後最長の景気拡大により企業部門の好調はさらに幅広い業種に見られ、今後家計部門への波及や個人消費の拡大へとつながることが期待されます。また、生保業界にあつては「逆ザヤ」問題を解消するまでに至っておらず、損保業界では保険金の支払い漏れ等、消費者の信頼回復をいかに図っていくかが課題となっております。

一方、漁業・漁村においては、引き続き漁船燃油価格の高止まり、産地魚価の低迷と漁業資源の減少により漁家経済は依然として厳しい状況にあります。さらに、漁業就業者の減少と高齢化の問題は、漁村地域の維持・存続にとって重大な課題となっております。JF経営においては大型合併が全国各地ですすめられており、事

業利益のV字回復に向けた事業・組織・経営の見直しと漁家経済の安定へ向けた取り組みが期待されているところです。

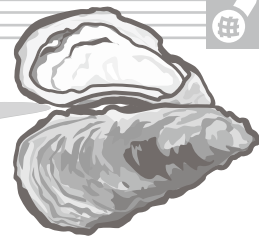
JF共済（JF共水連）は、こうした事業環境にあつて、海！輝く未来へ―JF共済3か年計画（平成17年度～19年度）の活動基本方針にある、「1. 組合員等利用者の保障の充実と地域住民への普及の拡大」、「2. 共済事業実施基盤の強化」に基づき、これらに関連する主要施策とその具体策について、緊急性の高いものから順次取り組んでいくことといたしました。

19年度は計画の総仕上げと次期3か年計画に向けた展望を図るべき重要な年度であり、とくに、現在作業がすすめられている水協法改正に関しては、JF共済の事業利用者保護の充実、事業の健全性・透明性の確保、および機動的な事業運営の確保と、事業実施方法の変更（共同元受方式）を伴うことから、JF共水連マネジメント改革の推進やコンプライアンス（法令遵守）・リスク管理態勢の整備・強化を含め、万全の態勢でこれに臨む必要があります。

また、事業量目標の確保に関しては、好調に滑り出した新チョコー（普通厚生共済）の制度を引き続き浜に定着させるとともに、4月より改正となる「くらし（生活総合共済）」についても強力な普及活動を展開することにより組合員の皆様の保障の充実に努めることとし、諸施策を着実に実践してまいります。

以上、年初にあたり所信の一端を申し上げます。最後にになりましたが、わが国漁業の明るい未来とJFグループがますます発展することを祈念いたしますとともに、本年が皆様とご家族にとって実り多く、健康で幸せな1年となりますよう心から祈念し、新年のあいさつといたします。

カキ対策各地で開催される



「カキは安全！」PR イベント

去る平成18年12月23日 マックスバリュート相生南店にて、ノロウイルス流行の風評被害によりカキ出荷の激減に悩むJF相生、JF室津による「カキは安全！」PRイベントが行われ、試食会や無料配布などがあり大盛況でした。ノロウイルスの感染が報道された12月以降、カキの出荷量が激減していますが、JF相生坂田強志組合長より「85℃以上に加熱すれば全く問題ない。毎日の



検査で安全は証明されているので旬の美味しさをどんどん味わって欲しい。」と述べられました。会場では高井芳朗西播磨県民局長が「兵庫県では今年、カキが原



因となるノロウイルス中毒は発生していない。」と説明し、西田正則たつの市長と谷口芳紀相生市長の三人で焼きガキを食べながら「西播磨のカキは安全！」と宣言しました。

相生市では1月28日にも野瀬公園特設会場にて“相生かきまつり”が予定されており、播磨名物、旬のスタミナ源であるカキの試食・販売が行われます。

牡蠣（かき）の消費広報キャンペーン —正しい知識で安全・安心— 冬の味覚・栄養豊富で美味しい牡蠣！

去る平成18年12月26日、神戸市中央卸売市場本場にて“牡蠣の消費広報キャンペーン”が、神戸市産業振興局 坂本幸夫局長ほか市場関係者、JF兵庫漁連 小松司会長、JF室津 中川照央組合長をはじめ生産者多数、消費者代表、県議会議員、小売業者等々多くの関係者が出席のもと行われました。

はじめに、坂本局長より「ノロウイルスの風評被害によりカキの消費流通が落ち込んでいる。上質で絶品な旬のカキは栄養価が高く、安全で美味しく楽しい食べ方を紹介することにより、風評被害を吹き飛ばそう。」と挨拶



されました。

その後、神戸市食品衛生検査所 大東幹男所長より“カキの安全な食べ方”について講演があり、「ノロウイルスにおいては、これまで2枚貝からの直接感染が多かったが、最近是人からの感染がほとんどです。85℃以上に加熱することにより栄養価の高いカキを美



味しく食べましょう。」と講演がありました。この後行われた試食会ではカキ鍋・カキフライ・オイスタークリームチャウダーが振る舞われ、小松会長より「消費者の命を支えている漁業者の責任を自負している。流通と協力して安心・安全な商品を提供したい。」と挨拶され、中川組合長の発声で「正しい知識で安全・安心！美味しいカキで健康・元気！」と唱和しました。

今後予定されているカキ行事

ぜひお越し下さい！

1/21 (日) 室津カキまつり

1/28 (日) 相生かきまつり

2/4 (日) 坂越かきまつり

2/12 (月) 姫路とれとれ海産物まつり

JA兵庫南旅行センターが 農業体験モニターツアーを開催

昨年11月4日、東播磨ツーリズム振興協議会企画、JA兵庫南旅行センター主催の「加古川和牛バーベキューと里の秋」日帰りモニターツアーが開催された。

農業や自然を学び体験してもらおうと企画したものの。まずJA兵庫南「ふぁ～みんSHOP八幡」を訪れ、朝採り新鮮野菜や特産加工品を購入。隣接するJAの低温倉庫では、倉庫いっぱいに積み上げられたお米や大麦を前に大きな歓声がわいた。施設見学後は、秋晴れの中、八幡地区の田園を散策し、途中養鶏農家に立ち寄り産み立て卵を購入した後、宗佐厄神を参拝した。昼食は、みとろフルーツパークで加古川和牛のバーベキューと新米のおにぎりを食べ、柿刈りにも挑戦。加古川和牛の肥育牛舎を訪ねた際は、初めて見る大きな肥育牛を前に子ども達もびっくりした様子だった。最後に鹿島神社に参拝し、ツアーは終了した。参加者アンケートからは、「加古川和牛のバーベキューと地元産新米おにぎりが最高でした」という声が聞かれた。



加古川牛の肥育牛舎を見学する参加者

<http://www.zenchu-ja.org/>

鹿児島“知覧平和の旅”実施 ～7会員生協 11名が参加～

2006年11月30日から12月1日にかけて、鹿児島“知覧平和の旅”を開催しました。「知覧特攻平和会館等を見学することで、戦争の悲惨さを学ぶと共に平和の尊さを再確認し平和の輪を広げていく。」という基本テーマに基づいて開催した平和の旅には、7会員生協から11名が参加しました。

知覧では、特攻平和会館、特攻の母鳥浜トメさんが営んでいた「富屋食堂」を見学しました。またこの日は、コープかごしま平和グループで活動中の徳田初枝さん、吉満恵子さん、お二人の語り部から貴重な資料をもとに南薩地方の戦跡調査報告等を詳しくお話しいただくこともできました。

参加者の皆さんからは、「昨年の沖縄では一般市民までもが巻きこまれた悲惨さ、そして今回の知覧では自らの命を犠牲にする悲惨さを感じ、戦争というものは絶対してはならないとあらためて強く感じた。」「平和ということがいかに大切か、今回の旅で学んだことを若い職員や組合員に伝え、今後の平和活動に活かしていきたい。」「全国どこに行ってもコープの仲間がいて、今回のお話して下さったことは、とても生協らしい取り組みだと感じた。今後、他生協の方が神戸に来られたとき、自分たちの生協がどのように案内できるか、そのようなことも考えるきっかけにもなりました。」などの感想がだされ、国内で唯一、本土決戦の場となった沖縄において、特攻という人類史上類ない作戦で知覧から飛び立っていったその悲惨さは、胸をしめつけられる重く苦しいものであり、あらためて、今日の平和があることへの感謝を感じるとともに、二度とあのような悲惨な戦争を起こしてはならないという強い思いを抱くことができた平和の旅となりました。



<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

夢と勇気と感動と。熱き挑戦者たちの奇跡のステージ！

スーパー ミラクル イリュージョン

木下大サーカス

～姫路公演～

御招待券 10組20名様プレゼント

郵便番号、住所、氏名、電話番号と「木下大サーカスご招待券希望」と記入の上、下記の連絡先までお送りください。

連絡先

(財)兵庫県水産振興基金

メールアドレス：h.sui.kikin2@triton.ocn.ne.jp

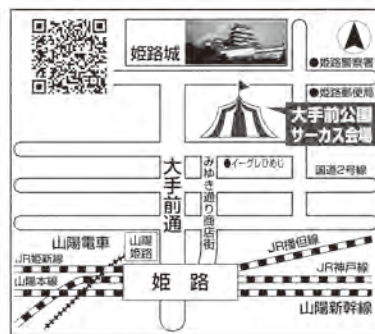
TEL:078-681-3789

振興基金・箕浦まで

1/31(水)メ切、当選は発送をもってかえさせていただきます。

「常に最高であり続ける誇り」…創業者の心を継承して1世紀。木下サーカスが伝統のなかで磨きあげ、鍛えあげてきた名人芸と、世界一流の海外アーティストたちが競演するダイナミックなスペクタクル・ショー。興奮と感動に満ちた栄光の百年をこえた記念ツアー、「木下大サーカス」5年ぶりの姫路公演です。

子供たちに楽しい夢を、若者にバーチャルではない迫真のライブ芸の魅力、大人の方たちには去りし日の想い出を！お子様の感動情操教育の場として最適です。世代を超えて共感をわかち合えるひとときを、ぜひおそろいでお楽しみください。



■会場のご案内

※公共交通機関をご利用下さい。
有料駐車場もあります。

姫路駅より徒歩10分



行事予定

＜変更になる場合があります＞

JF 兵庫漁連		
1月	11日(木)	17:30～ 香住加工恵比寿講
	17日(水)	第5回のり入札会
	19日(金)	13:30～ 瀬戸内海関係漁連連絡会議
	25日(木)	13:00～ 理事会
	29日(月)	第6回のり入札会
2月	8日(木)	第7回のり入札会
	14日(水)	兵庫JCC協同組合研究会 (県民会館)
	22日(木)	第8回のり入札会

JF 兵庫信漁連		
1月	11日(木)	17:30～ 香住加工恵比寿講
	15日(月)	JFマリンバンク中央本部専門委員会
	26日(金)	13:00～ 理事会

JF 共水連兵庫		
1月	12日(金)	PM近畿7ブロック所長・本部長会議 (津市)
	15日(月)	経営企画会議
	24日(水)	15:00～ 北海道推進委員意見交換会

内海漁保		
1月	22日(月)	13:30～ 理事会(産業会館)
	30日(火) ～31日(水)	漁船保険等損害審査実務研修会 (東京)
2月	7日(水)	13:30～ 臨時総代会(ハアレ神戸)

但馬漁保		
1月	30日(火) ～31日(水)	漁船保険等損害審査実務研修会 (東京)

振興基金		
1月	23日(火)	13:30～ 大輪田塾
2月	5日(月)	10:30～ 兵庫県漁協役職員研修会 (ホテルニューオータニ)
	28日(水)	10:45～ 第10回「山田記念賞」表彰式 並びに祝賀会(ホートピアホテル)

兵庫県		
1月	16日(火)	10:30～常任委員会
	23日(火)	13:00～ 但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
	24日(水)	水産主務課長会議(農林水産省)
	25日(木)	水産関係試験研究機関長会議 (農林水産省)
	30日(火)	14:00～ 瀬戸内海海区漁業調整委員会 (神戸市教育会館)

その他		
1月	12日(金)	10:00～ 播磨漁友会役員会・臨時総会 (姫路キャッスルホテル)
	15日(月)	13:00～ 淡路農林水産祭 (伊弉諾神社)
	16日(火)	17:30～ 鹿ノ瀬会総会(人丸花壇)
	21日(日)	JF室津かきまつり
	28日(日)	相生かきまつり
2月	2日(金)	第31回淡路のり品評会 (淡路水産センター)
	4日(日)	坂越かきまつり
	6日(火)	13:30～ 第32回全国海水養殖シンポジウム (ホートピアホテル)
	12日(月)	姫路とれとれ海産物まつり (大手前公園)

大輪田塾だより

12月20日(水)に兵庫県水産会館において「食育」について西脇市立あゆみ保育園の田中佐登美園長より講演がありました。食育とは知・体・徳の三育の基礎となるものであり、家庭での教育が中心となります。朝食を食べない子や、外食ばかりの子が増え、保護者達は輸入農林水産物に頼った食生活をおくり、都市部だけでなく農村部でも地域の産物や、旬の食材がきちんと分かっていないのが現状あり、生活リズムの乱れは、子供に良い影響を与えません。その改善の為には漁業者の直接の努力が、行政を巻き込むような動きに繋がり、旬の食材や食べ方を大きく広め「魚って美味しい」と多くの方に感じていただく必要がある事を述べられました。



1月の主催講座の開講予定

開講予定日・場所	講座名	講師
1月23日(火)	漁業法概要(基礎・必須)	水産課 漁政担当

編集後記



あけましておめでとうございます。

今年のテーマは健康とプラス思考でいかがでしょうか？食育の講義で学んだ発想の転換は非常に有意義なものでした。「だめ」という禁止の言葉より「～したらもっと良いよ」という肯定に持っていく発想。毎日のご飯に「ありがとう!」。作るお母さんも気が抜けませんね。

ズワイガニ漁が 順調な滑り出し!



兵庫県の日本海を代表するズワイガニ漁。56隻の沖合底びき網漁船が主に島根県の隠岐島周辺や浜田沖、本県沖で操業し、昨年11月6日の解禁以来順調な滑り出しとなっています。

11月の水揚量はオスガニでやや不漁気味であった前年同期を23%上回り、メスガニは前年比5%増とほぼ前年並みの水揚となった。水揚量増加の要因は、昨年からの水ガニ匹数制限の導入という自主規制をもうけたことが考えられます。

今年も資源保護が実を結び、安定した漁獲が続いていくことを願います。



のり入札会開始!熱気に包まれる

安心・安全を売る兵庫のり



兵庫県の瀬戸内海を代表するのり養殖漁業。平年より水温が高くのりの伸びが鈍い状況が見られていましたが、少しずつ寒さが増して、昨年12月16日より海苔入札会が開始されています。

兵庫らしい黒くて柔らかいのりは人気が高く、見付会場は全国から集まった商社で熱気にみちています。

昨年の水温は平年比約1℃高めに推移しており、全国に比べ瀬戸内の生産の出遅れが見られましたが、今後の水温降下とともに業務筋中心の生産になることから今後の期待が膨らみます。

今年も漁場の安全と、安定した品質ののりが生産出来ることを願います。



2月3日(土)は節分

各地で兵庫のり大好評!

のり巻きを”まるかぶり” 今年の恵方は「北北西」

関西地方には昔から「節分の夜、恵方に向かってのり巻きを丸かぶりすると幸運が訪れる」という風習があります。この由来は様々で、一つは、豊臣秀吉の家臣で堀尾吉晴(山内一豊の友)という武将が、出陣の前に家族や郎党とともにのり巻きの丸かぶりをして戦場に赴いたところ、連戦連勝を続け、秀吉の側近として、後に10万石の大名にまで出世し、のり巻きを食べたのがたまたま節分の日だったことから、幸運を呼ぶ丸かぶりが風習として残ったという説や、二つめに、江戸時代末期が明治の始め頃、大阪・船場の商家が「商売繁盛」「無病息災」「家内安全」を祈願して、旧暦で季節の変わり目にあたる節分に、前年の災いを払い、新しい年の幸運を祈る一種の厄払いとしていたことが、風習となったという説もあります。三つ目に、巻き

ずしを鬼の金棒に見立て、「鬼はそと、福はうち」と豆をまくことと同じように、丸かぶりで鬼退治=家内安全を祈願するという意味もあるといわれています。

関西地方で始まった「開運丸かぶり」の風習は、バレンタインデーとは違い、一般家庭の幸運を招く節分行事として今や全国に広まってきています。お寿司屋では節分の前々日くらいから一人で千本以上巻くといわれるほど、職人泣かせの風習ですが、節分の夜こそ、日本列島「のり巻き総丸かぶり」で健康・安全・安心そして平和な社会が訪れることを願いたいものです。



TAKUSUI
1 January

発行 財団法人 兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1 TEL 078-681-3789 FAX 078-651-4687